

令和6年度地元産業界等と連携した実践的PBLを含む授業科目等の開講

札幌国際大学	①	i. 連携している地元産業界等の組織名称	北広島市
		ii. 当該授業等を実施する学部・学科	①スポーツ人間学部スポーツビジネス学科 ②スポーツ人間学部スポーツ指導学科
		iii. 当該授業等を開講する目的	当該プロジェクトは、北広島市と本学が包括連携協定を締結することにより、官民連携に加え、教育機関の知見や人材提供の実現と、将来的には民間企業も交えた産学官民が共同するプロジェクトを展開することを目標とする。中長期的に産学官民が共同するプロジェクトの展開を目標にする一方で、短期的には本学が有する知見と人材(学生)を提供し、同市が直面する諸課題を批判的かつ建設的に検討しつつ、その解決に向けた活動に取り組むことによって産学官民プロジェクト展開の一助となる知見を得る。 そこで本活動における学生の目的は、学外でのフィールド(北広島市)を活用したアクティブ・ラーニングを展開し、同市が直面する諸課題に対する資料を得ることである。
		iv. 当該授業等の具体的な内容	当該プロジェクトでは、関連する活動を「北広島プロジェクト」と称し、学生主体の課題解決型プロジェクトとして展開する。基本的な活動内容は、以下の通りである。 ① 北広島市について文献調査および実地調査を実施する。 ② 課題の抽出とその課題解決に向けたアクティブ・ラーニングを展開する。 ③ 課題解決に向けた企画を立案し、企画書を作成する。 ④ 北広島市役所職員に企画書を発表する。 ⑤ 企画に対し、協議を重ね実施に向けて検討する。 ⑥ 企画の準備、運営を行う。 ⑦ 企画を振り返り、評価、反省、協議と報告書の作成を行う。 上記の活動に加え、既存イベントへの参加や昨年度の企画の継続開催についても協議を重ね、課題解決型プロジェクトを幅広く展開する。
札幌国際大学短期大学部	公表内容	i. 連携している地元産業界等の組織名称	札幌市清田区
		ii. 当該授業等を実施する学部・学科	短期大学部 総合生活キャリア学科
		iii. 当該授業等を開講する目的	・課題解決演習:1年次に学んだスキルを活かして、外部の企業、団体と協力し、長期間チームで協力して行うプロジェクトを通し、計画力、スケジュール管理力を実践で試し、長期間メンバーと協働する体験を通し学ぶ、学科の学びを実地で生かす機会として開講。 ・学びの技法:学科で学ぶ上で必要なスタディスキルを身に着けるための初年次教育科目。 ・プレゼンテーション応用:基礎で学んだスキルを活かし、取材と報告プロセスを学び、相手の心に届く方法を模索して、実技を通してスキルを高めるための科目。 ・ボランティア:自分の持っている力、人のために使える時間を有効活用し、対象を広くとらえ、生涯にわたってボランティアやチャリティなどの活動に関心を持って参加できるよう実体験を通して学ぶ。
		iv. 当該授業等の具体的な内容	・課題解決演習:教員の指導の下、目標を立て、1年かけて目標の達成のために活動し、その成果をまとめて発表する。外部団体または企業と関わり、打ち合わせを行い、活動に理解をいただいて協力をいただき、成果をまとめ、チームごとに学内掲示用ポスターを作成、まとめのプレゼンテーションを学期末に学内で行う。取り組みの成果とチームとしての動きを振り返る評価も行う。清田区に趣旨を理解していただき、イベント協力時のアンケートの実施許可や成果の共有などを行う。 ・学びの技法:座学だけでなく、実際に活動を行うことで、短期大学部の存在意義と学びの目標の確認、スタディスキルの活用として、企画をたて、運営する。清田区とは、暮らしを楽しむというテーマを共有し、学園祭での地元の魅力発信のための出店活動を行い、区内の企業との連携協力、実施後成果報告などを行う。 ・プレゼンテーション応用:基礎で学んだスキルを活かし、きよたスイーツのPRについてグループで課題を検討し提案を行う。清田区に協力企業への呼びかけ、斡旋、提案の評価を行う。 ・ボランティア:定期的に情報交換を行いながら、様々な活動に挑戦する科目。学内でのボランティア活動として、きよたスイーツのPR販売を企画し運営。発展の可能性について区に提案する。